

令和元年度 横浜市立四季の森小学校 学校だより

このまちに生き、共に輝く子

ねばり強く取り組む子 思いやりのある子 命を大切にする子 地域に愛着をもつ子 社会への視野を広げる子



# 四季の森

3月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shikinomori/>

## 成 長

校長 笹原 洋子

河津桜が満開となり、春を感じる頃となりました。

今年は新型コロナウイルス感染が広がりを見せ、いつもとは少し違う年度末となっています。でも、子どもたちはこの1年間、着実に成長しました。授業参観、懇談会で紹介できなかった《子どもたちの成長》のエピソードの一部を紹介します。

- 個別支援学級で「めざせ！ダンスマスター」という取組をしました。思い思いの表現をしながら、友達の良さを見つけていました。友達と協力し合う姿に成長を感じました。
- すっかり小学校生活に慣れて、友達をたくさん作った1年生。いろいろなことに、みんなで一緒に挑戦してきました。「来年の1年生にいろいろ教えてあげるんだ。」と、気持ちは早くも2年生になっているようです。
- 2年生は国語「スーホの白い馬」の学習をきっかけに、外国の昔話などの本をたくさん読みました。幼稚園や保育園の子に読み聞かせをし、喜んでもらえました。読書への関心が高まったようです。
- 3年生は、先生に言われなくても自分たちでできることが増えました。話し合いなどがスムーズにできるようになりました。中学年としての自覚が出てきたのでしょうか。
- 4年生は、音楽朝会で歌ったのをきっかけに、とてもきれいな歌声で歌えるようになりました。今、美しい歌で卒業生を祝えるよう、さらに頑張って練習しています。
- 5年生が近隣の幼稚園、保育園の年長さんと一緒に校内探検をしました。目線を園児に合わせて声をかけていました。年下の子に優しくしようという気持ちが育ってきています。6年生になって、1年生に優しく接する姿が目に見えます。
- 6年生と話した時に、「6年になってノートをきれいに書くようになった。」とか「友達の意見を聞き入れられるようになった。」と話してくれた人がいました。自分の状況を客観的に見つめ、よりよい自分になろうと努力していると聞き、大人になってきているなあ、と感心しました。



来年度は、新しい学習指導要領が完全実施となります。5、6年生では外国語が教科になります。プログラミング教育も導入します。また、本校では児童数が減少し、2クラスだった学年が1クラスになってしまう場合もあります。来年度、変更する点はいろいろあるかと思いますが、それらが四季の森小学校の子どもたちをより成長させられる変更となるよう、教職員一同工夫し、努力していこうと考えています。

この1年間、たくさんご協力いただきまして、ありがとうございました。来年度もご理解、ご支援いただけますよう、よろしくお願いいたします。

